

(案)

令和7年(2025年) 月 日

横須賀市長 上地 克明 様

横須賀市保健医療対策協議会
委員長 三屋 公紀

「第2期横須賀市がん対策推進計画」の策定について(答申)

令和6年1月29日付け横健管第109号により諮問された件について、別添のとおりとりまとめましたので答申します。

なお、「第2期横須賀市がん対策推進計画」の計画期間は、令和7年(2025年)4月1日から令和13年(2031年)3月31日までの6年間とし、計画の策定にあたっては次の点を考慮しました。

1 総論について

「横須賀市がん克服条例(平成31年4月施行)」の目的を達成するために取り組む課題について検討しました。

2 目標について

「第2期がん対策推進計画策定の基本方針」について、行政の目線からではなく、市民の目線から見た「目指すべき姿と役割」を考え、医療従事者、市民、行政のそれぞれが何を行うべきかを明確にし、目標などを決めました。

3 がんとの共生について

現在は、がんになり患しても入院せず、通院治療を受ける人が増えてきていることを踏まえ、がんと共に生きる人々やその家族への支援の必要性について議論しました。「なるべく身近な、市内の情報を掲載したほうが良い」とのご意見から患者会やハローワークなどできる限り市内の支援先を掲載するようにしました。

4 情報リストについて

「ほしい支援に早くたどり着けるよう、スマートフォンを使うことも考慮して整えるべき」とのご意見から、今回の計画では二次元コードを掲載しました。